手地区編 S

第12回

張る、上手地区コミュニティ みんなが一体となり元気に頑 地域づくりを目指して、住民 協議会を紹介します。

が花見のうたげを楽しみ、夏にかけては魚釣 秋上川を囲むように水田が広がるのどかなと山に囲まれ、地区の中央を流れる久富木川・ ころです。この久富木川の川辺には、 っを楽しむ人の姿が見られます。 上手地区は、昔から農業が盛んで、 手地区は、 本市の東部に位置し、 春には地域の各グループ 四方を 桜渡農

ち米発祥の地となっています。 い米の取れるところで、「溝下もち」というも 人の農家

15年には本県の奨励品種として県内に普及し、 もち米としては最も優秀な品種といわれてい いもち米であったため村内に奨励され、大正 この「溝下もち」は明治28年に、 それがもちやお菓子にしてもおいし 同地区内の水田で珍しい1株の稲を

ことが予想されます。

の機械化などで栽培面積が激減し、 家の方が栽培していましたが、 昭和中期以降、食料需給事情の変化・農業 近年、 数戸の農 その味

> が見直され、 「さつま白もち」の銘柄で数年前から栽培され 付けも年々増えています。 本県で「溝下もち」を改良した

を中心に栽培されています。 から「さつま雪もち」という品種で祁答院地域 さらに栽培しやすく改良され、 本年

豊日霎神社の秋の例祭で五穀豊穣と無病息災を

れていますが、当地区では、毎年、

10月8日に

秋の神社の祭りで踊られるようになったといわ

合わせて祈願し、奉納されています。

方

じ踊りは、それぞれの集落では継承が難しいた

楠原集落と中武集落に伝わる、

年度までは9自治会)で構成されています。 年4月に自治会の再編を行い、5自治会(昨 今後も、さらに少子高齢化の進行が早まる した地区コミュニティ協議会です。 上手地区コミュニティ協議会は、 人口約920人で新しくスター

同じく秋の例祭に奉納されています。

また、

「俵ひんじ踊り上手クラブ」により、

現在は、

上手小学校の児童を中心とした

2230996 (37) 2252

2000996 (44) 3117

2000996 (42) 0767

2000996 (55) 1021

20009969(3)2912

2209969(2)1490

20009969(7)0753

20009969(4)2672

りに取り組んでいます。 清掃、環境美化活動として路傍植栽や花壇作 ふれあい活動として、 地区を挙げての六月灯・夏祭りを毎年実施し 『域の奉仕作業による定期的な小学校などの このような中、地区の一体感を高めるため、 活性化を図るために高齢者と小学生の 郷土芸能の伝承活動・



初秋の風に揺れる稲が、 周囲の緑に溶け込む、山

あいに残る棚田

楠原集落にある、 音磨崖仏



上手小学校児童に継承されている、俵ひんじ踊り

上手地区コミュニティ協議会

■所在地

〒 895-1503 祁答院町上手 2214 - 1

■ • ■ 0996(55)1161



保存が困難なため、

より集落単位では継承

継承していくよう努力

ていきます。

上手青年団による、 勇壮な太鼓踊り

≫ 嘘齦 薩摩川内 お知らせ版

平成19年9月25日号 No.71

行 ■発 薩摩川内市役所

本庁企画政策部広報室 〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22

2000996(20)5570 閉庁日および時間外20996(23)5115 **10**0996 (23) 5111

koho@city.satsumasendai.lg.jp メールアドレス

脇 ■各支所 樋 支 所 〒895-1292 樋脇町塔之原1173 支 入 所 〒895-1492 入来町浦之名33

東 郷 支 所 〒895-1106 東郷町斧渕362 祁 答院支 所 〒895-1595 祁答院町下手67 里 〒896-1192 里町里1922 支 所 上 支 所 〒896-1201 上甑町中甑481-1

下 支 所 〒896-1696 下甑町手打819 鹿 島 支 所 〒896-1392 鹿島町藺牟田1457-10 ■災害広報電話 ■0996(23)9111

■生活情報電話 http://www.city.satsumasendai.kagoshima.jp/

1009969(7)0311 **1**09969(4)2211 **13**0996 (22) 7543

130996 (37) 3111

100996 (44) 3111

100996 (42) 1111

100996 (55) 1111

109969(3)2311

109969(2)0001

甑めのいわれ」 ふるさと探 上甑的の甑大明神橋 のところにある. 甑(せいろ)がりに 似た大岩から 画 K

きな財産として引き継がれています。

この太鼓踊りは、

稲の災厄を追い払うために

踊りを復活し、以来、

今日まで地区青年団の大

どちらとも高度経済成長期に一時途絶えていま

上手地区には、二つの集落に太鼓踊りがあり

たが、当時の青年団が立ち上がり、上手太鼓

ごみのポイ捨てやめましょう!